

大町のまちなかの未来をみんなで考えよう！

第2回 信濃大町 100人衆会議

5.22 日 14:00-16:30

16:30-17:00 アフタートーク

途中の出入り
自由

場所：信濃大町駅前広場

※雨天時 市役所東庁舎2階 東大会議室

まちなかの未来を考える青空ワールドカフェ

～まちなかでこんなことできたらいいな！～



100人衆とは？

江戸時代のまちづくりを支えた豪商たちの集まり「大町十人衆」に由来し、主体的にまちづくりを担ってくれる人々の集まりです。

信濃大町100人衆会議とは

信濃大町100人衆会議は、大町市の中心市街地（まちなか）が持続的に発展するための将来像（未来ビジョン）を共有し、これを実現するための公民学連携のプラットフォームです。

世代を超えて地域に思いをもつ人々が集まり、継続的なまちづくりに取り組むネットワーク形成を目指しています。



100人衆会議の役割

まちなかの未来をデザインし
目指すべき方向性を見出す

様々な主体が行っている
既存の取組や情報を
共有して連携を図る

公共空間の活用も視野に
新たな取組を創出・支援する

まちなかの未来ビジョン（理想とするまちなか）をみんなで実現

これまでの取組と今後の展開

100人衆インタビュー （令和2～3年度）

大町岳陽高等学校の生徒が、地域資源を活かしたまちなかの再生、賑わい創出活動を主体的に実施している“地域人”にインタビューをし、その内容を冊子にまとめて“地域人”の魅力の掘り起こしを行いました。



にぎわい社会実験 （令和3年10月22～24日）

北アルプス国際芸術祭に併せて、信濃大町スイーツプロジェクトやシャッターオープンプロジェクトなど計7プロジェクトを同時開催し、まちなかに多くの賑わいを生み出しました。



第1回100人衆会議 （令和4年3月13日）

まちなかの魅力や課題、10年後の目指す姿についてワークショップで意見を出し合いました。そこで出された意見から今後のまちづくりのテーマがいくつか見えてきました。



第2回100人衆会議 （令和4年5月22日）

第1回100人衆会議の意見をもとに設定したテーマで「まちなかでこんなことできたらいいな」を出し合い、まちなかににぎわいの日常化につながる取組について話し合います。

走りながら将来像を描いていく
（＝取組を実践しながら）



未来ビジョンの策定

to be continued

まちなかの未来をみんなで考える青空ワールドカフェ
～まちなかでこんなことできたらいいな！～



大町市キャラクター
おおまびょん

第2回100人衆会議は、「まちなかでこんなことできたらいいな」というアイデアを出し合うワークショップです。まち歩きをしながら発想を広げ、みんなで楽しく考えましょう♪途中出入りも自由です。お気軽にご参加ください！
今後は、この100人衆会議で出されたアイデアをもとに、こうあってほしいと思うまちの姿をつくり出す試行的な取組（社会実験）も行いながら、未来ビジョンを具体化していく予定です。



第1回100人衆会議で見出された7つのテーマ